

対象	中学校以上
教科	国語科
該当 単元	中学 1 年以上 読解力を付ける 語彙力を付ける
教科書	光村図書・東京書籍等
掲載日	2019.9.6. 朝刊滋賀 10 版

輸出量が拡大

1 近江牛や近江米など、**県内**の農畜産物の輸出が拡大している。**アジア**各国での**県独自のプロモーション**や輸出に対する**国の交付金制度**などを生かし、過去約4年間で輸出量は近江牛が約1.7倍、近江米が約2.3倍

に。県食のブランド推進課の担当者は「農畜産物の輸出は、まだまだ伸びしろがある。近江ブランドを少しずつ浸透させていきたい」と意気込んでいる。

(森田真奈子)

近江牛や近江米、お茶…

3 年度の四百四十頭から一八年度の七百七十九頭に、近江米は一四年度産の百四十トから一八年度産の三百三十トに、お茶は一四年度の〇・四トから一八年度の二・九トにそれぞれ増加。近江牛はシンガポールやタイ、台湾、近江米はシンガポールや香港、お茶は香港や欧州連合(EU)などが主要な輸出

2 農畜産水産物輸出戦略では、近江牛と近江米、近江のお茶を輸出の重点品目に設定。そのほか、湖魚やふなずしなどの輸出も目指すとしている。



4 七年に台湾への輸出が解禁されたこと、近江米は一八年から輸出用の米の生産に国の交付金が給付されるようになったことが影響。お茶については、県内で無農薬の栽培農家が徐々に増え、海外の厳しい農薬規制に対応できるようになったことが、輸出増加の一因とみられるという。

先となっている。

県独自の販促奏功



2017年11月に米ミシガン州で催された近江茶のPRイベント＝同州のデトロイト美術館で (県食のブランド推進課提供)

5 商談会では海外の百貨店やバイヤーなどを対象にプロモーションを実施。生産者や加工業者が海外で商談会に参加したり、市場調査を行ったりする際に、費用の半額を補助する制度も設け、一八年度には一八事業者が利用した。一七年度に彦根市に開設された日本貿易振興機構(ジェトロ)の「出先機関「滋賀貿易情報センター」」とも連携し、輸出に関するセミナーなども開いている。

外で商談会に参加したり、市場調査を行ったりする際に、費用の半額を補助する制度も設け、一八年度には一八事業者が利用した。一七年度に彦根市に開設された日本貿易振興機構(ジェトロ)の出先機関「滋賀貿易情報センター」

6 海外での反応は「品質について評価が高く、感触は良い」と話す。京都のようなブランド力に欠ける点は課題だが、県内への旅行者

が多い台湾などでは、滋賀の認知度が少しずつ高まっているという。今後は、米国ミシガン州を始め、県内の自治体の姉妹都市のつながりも生かしながら、現地のバイヤーとの関係構築を通して、さらに輸出拡大を目指す。

改定矢野 貢 献

※ 本文の段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

問1：見出しにある「販促」とは、どういう言葉を省略したものでしょうか。

販 () 促 ()

問2：省略された言葉を書きましょう。

ア 国連 国（ ）連（ ）

イ 特急 特（ ）急（ ）

ウ 原発 原（ ）発（ ）

問3：見出しにある「奏功」の読みをひらがなで書きましょう。また、意味として

最も適当なものを選びましょう。読み（ ）

ア 目的どおり成し遂げること。 イ 手柄をたてること。

ウ すばらしい演奏をすること。 エ うまくいかないこと。

問4：第1段落に「県内」とありますが、何県でしょうか。（ ）県

問5：第1段落の「アジア各国での県独自のプロモーションや輸出に対する国の交付金制度など」について、具体的に第何段落で説明しているでしょう。

第（ ）段落

問6：第1段落の「近江ブランドを少しずつ浸透させていきたい」について、具体的にどんな取り組みをしようとしていますか。本文中から13字で抜き出しましょう。（ ）

問7：次の空欄にあてはまる言葉や数字を書きましょう。

	過去4年間の輸出量	輸出増加の一因
近江牛	約1.7倍	()
近江米	約2.3倍	()
お茶	約()倍	海外の厳しい農薬規制に対応